

図書室より「新着図書」のお知らせ

2024年本屋大賞/ミネート作品

「水車小屋のネネ」 津村記久子

誰かに親切にしなきゃ、人生は長く退屈なものですよ

18歳と8歳の姉妹がたどり着いた町で出会った、しゃべる鳥〈ネネ〉ネネに見守られ、
変転してゆくいくつもの人生――

助け合い支え合う人々の40年を描く長編小説

「スピ/ザの診察室」 夏川草介

その医師は、最期に希望の明かりをともす。

雄町哲郎は京都の町中の地域病院で働く内科医である。三十代の後半に差し掛かった時、最愛の妹が若くしてこの世を去り、一人残された甥の龍之介と暮らすためにその職を得たが、かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を囑望された凄腕医師だった。哲郎の医師としての力量に惚れ込んでいた大学准教授の花垣は、愛弟子の南茉莉を研修と称して哲郎のもとに送り込むが……。

「存在のすべてを」 塩田武士

平成3年に発生した誘拐事件から30年。当時警察担当だった新聞記者の門田は、旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。異様な展開を辿った事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がる――。質感なき時代に「実」を見つめる、著者渾身、圧巻の最新作。

「放課後ミステリクラブ① 金魚の泳ぐプール事件」 知念実希人

夜の学校。プールに放たれた金魚。だれが、なんのために？

4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す！

「ほくは読者に挑戦する」名探偵・辻堂天馬の挑戦に、キミはこたえられるか――？

「星を編む」 岡良ゆう

第20回本屋大賞受賞作「汝、星のごとく」続編

「春に翔ぶ」――瀬戸内の島で出会った權と暁海。二人を支える教師・北原が秘めた過去。

彼が病院で話しかけられた教え子の菜々が抱えていた問題とは？

「星を編む」――才能という名の星を輝かせるために、魂を燃やす編集者たちの物語。

漫画原作者・作家となった權を担当した編集者二人が繋いだもの。

「波を渡る」――花火のように煌めく時間を経て、愛の果てにも暁海の人生は続いていく。

「汝、星のごとく」の先に描かれる、繋がる未来と新たな愛の形。